

414  
A2818  
1



大隈大輔  
浮藤少輔  
山口大丞  
中村權大丞  
玉乃少丞  
坂本少丞  
細少丞  
高田權少丞

信  
守  
全  
國  
會  
議  
之  
旨  
以  
中  
外  
通  
商  
之  
理  
凡  
有  
書  
件  
紙  
文  
何  
種  
字  
樣  
均  
應  
遵  
行  
毋  
違  
特  
示  
此  
諭  
大  
正  
十  
一  
年  
四  
月  
初  
八

監督正  
駱連權正  
監督大少佐  
駱連大少佐

大正十一年四月  
大隈侯爵郵寄贈

641



書面之趣を其藩の紳士保一全に取調結之儀に  
故障之助も之を以て強法一定之旨一行を以て  
まゝの當り見ゆ通可計と申す事申出高  
村界入相村之邊に申す通可計申出高  
後之趣に在るに付札振取調此儀申出高

己十月

附札振  
當分見之通可計事

己十月

信濃國之邊に僻陋之峽地にて宿弊山官高村  
藩も悉皆備者之地に散在し申す宿弊申す苦情最  
甚多きに在り愚民情 即新政已申出高  
之趣に付之旨徹し申す事ヨリ務め其政を  
相止給及寔直に全圖度紳士集議之旨  
今致す紙議之書に道役規程申す事地之  
以上之為製書し申す事漸次申出高  
申す事於此及紳士多きに改申す事申出高  
申す事紳士村此申出高在り於此紳士申出高  
申す事紳士申出高申出高申出高申出高  
申す事紳士申出高申出高申出高申出高





後之出高之且為春之水調之其引之除  
諸引高之動高之積之安之引之彼是  
多少之材之有之如何之不公年之相見或之長而  
之定助地之線之引之通之引之通之  
既出又之胸往還等入馬之友外多之役高  
多春之除高之也之能持能保之印章  
之役方下光之見合之秋度東之者之成之  
前早之役之成之引之引之引之引之  
加之諸引高之除之殘高之之層精密之

取調之處別冊之通之引之引之引之引之  
之役之暫之廢縣之之番任之之改之之役之成之  
之役之且之不足補之之他國之引之引之引之引之  
是之之之之之之之之之之之之之之之之之之  
之之之之之之之之之之之之之之之之之之之  
之之之之之之之之之之之之之之之之之之之  
之之之之之之之之之之之之之之之之之之之

二十月

伊那縣

民部省

中

驛遞議定書

驛逋議定書

信濃全國藩縣之役負筑摩郡淺間村ニ聚會シ  
大ニ驛逋改正ノ事ヲ議シ上  
朝旨ヲ奉戴シ下民情ヲ斟酌シ議定ス者左ノ如シ

第一條

今般改正之大趣意ハ全國之民カラ平均シ過不及偏倚ノ  
憂ナカラシメ以テ全國驛郎之民人ヲ保全スル所以ナリ  
定賃鈔ハ只今ノ十倍増ス

各驛ノ勤メ人馬ハ官定賃錢ニ贖錢若干ヲ加ヘ各其勞ニ酬ユルニ  
足ルヘキ至當ノ賃錢ヲ与ヘ肯ハシメ候事

驛通議定書

信濃全國藩縣之役負筑摩郡淺間村ニ聚會シ  
大ニ驛通改正ノ事ヲ議シ上  
朝旨ヲ奉戴シ下民情ヲ斟酌シ議定スル者左ノ如シ

第一條

今般改正之大趣意ハ全國之民カヲ平均シ過不及偏倚ノ  
憂ナカラシメ以テ全國驛郷之民人ヲ保全スル所以ナリ

第二條

各驛ノ勤ノ人馬ハ官定貸錢ニ贖錢若干ヲ加ヘ各其勞ニ酬ユルニ  
足ルヘキ至當ノ貸錢ヲ与ヘ肯ハシメ候事

此等前助の必差一人馬を以て  
積累法に現人不出時を處置  
如何に可計

欲スルモノヲ撰ミ請負金ヲ精査  
テ入札セシムルモノナリ而メ之ヲ二  
テ定リタル人馬ヲ日々各驛ニ備ヘ  
分アルモノナリ第一級ハ第一級ニテ

足ラサル時手近ノ村落ヨリ臨時ニ雇ヒ入ルモノニシテ其真ニ勤  
メタル日ノミ賃錢贖錢ヲ与フ驛ニ至リテ不用流トナルモノ  
近丁場ノ方贖錢ノミヲ与フ第一級肯  
人馬負數給分第二級贖錢ノ規則ハ別表ノ如シ  
一時百五拾人百五拾匹已上之ニ級人馬ヲ招募スル時驛ヨリ其  
肯ノ人馬ヲ差出ス村々ニ報知シ十五人或ハ十二人充ノ小頭ヲ出  
サシメ不用流一人半ノ贖錢ヲ与ヘテ給分トス

第三條

傳馬所役負分テ六級トス取締役元締役勘定役書役人馬  
差小使是ナリ驛郷ノ中ヨリ其任ニ適スルモノヲ選ヒ藩ヨリ之ヲ命  
スヘシ或ハ入札ノ法ヲ以テ公選セシムルモノ可ナリ年限ハ四年ヲ期トシ  
適任退ク可ラサルモノハ延テ八年トス取締役ハ其任ニ適フモノトシ  
關テ置ス藩縣ノ吏人ヲ以テ兼攝セシム役負給分人負ホハ別表  
如シ

但取締元締勘定三役ノ給分ハ二月ニ与ヘ書役已下ハ各月  
初旬ニ与フモシ非常ノ大通行アリテ常時ノ役負事ニ堪サル  
時ハ驛郷ノ中ヨリ多少ノ人負雇入以テ役負ノ補助トナシ給金  
ノ日分ニ其十分ノ五ヲ増シテ与フヘシ

第四條

但請負人ハ驛郷ノ内ニテ其欲スルモノヲ撰ミ請負金ヲ精査  
シ之ニ命スヘシ其欲スルモノ多キオハ入札セシムル可ナリ而メ之ヲ二  
級ニ分ツ第一級ハ則定肯ニシテ定リタル人馬ヲ日々各驛ニ備ヘ  
置勤賃錢ノ外ニ日ニ一定ノ給分アルモノナリ第二級ハ第一級ニテ  
足ラサル時手近ノ村落ヨリ臨時ニ雇ヒ入ルモノニシテ其真ニ勤  
メタル日ノミ賃錢贖錢ヲ与フ驛ニ至リテ不用流トナルモノ  
近丁場ノ方、贖錢ノミヲ与フ第一級肯  
人馬負數給分第二級贖錢ノ規則ハ別表ノ如シ  
一時百五十人百五十匹已上之ニ級人馬ヲ招募スル時驛ヨリ其  
肯ノ人馬ヲ差出ス村々ニ報知シ十五人或ハ十二人充ノ小頭ヲ出  
サシメ不用流一人半ノ贖錢ヲ与ヘテ給分トス

第三條

傳馬所役負分テ六級トス取締役元締役勘定役書役人馬  
差小使是ナリ驛郷ノ中ヨリ其任ニ適スルモノヲ選ヒ藩ヨリ之ヲ命  
スヘシ或ハ入札ノ法ヲ以テ公選セシムル可ナリ年限ハ四年ヲ期トシ  
適任退ク可ラサルモノハ延テ八年トス取締役ハ其任ニ適フモノトシハ  
闕テ置ス藩縣ノ吏人ヲ以テ兼攝セシム役負給分人負ホハ別表  
如シ

但取締元締勘定三役ノ給分ハ二月ニ与ヘ書役已下ハ各月  
初旬ニ与フモシ非常ノ大通行アリテ常時ノ役負事ニ堪サル  
時ハ驛郷ノ中ヨリ多少ノ人負雇入以テ役負ノ補助トナシ給金  
ノ日分ニ其十分ノ五ヲ増シテ与フヘシ

第四條

各年二月藩縣ノ役負會議所ニ集會シ全國七十四驛ノ費ヲ總括シテ検査精竅ノ上全國ノ正税ニ割賦シ其藩其縣ニ散歸スルノ後之ヲ取立年番ノ出納方年各藩縣順次ニ出納方トナリテ諸費ノ

出納ヲ宰スル順次ニ組合別表ニアリハ可差出事

但各年六月マテ入費ハ七月中ニ各驛ヨリ調出シ八月ニ至テ前年ノ正税ニ割賦シ十二月マテノ入費ハ正月中ニ調へ出シ二月ニ至テ割賦スルニ藩縣トモ治下ノ割合高ク受ル後之ヲ其民ニ課スルニ至テハ土地民情ニ適スルヲ主トスヘシ必正税ニ割賦セサルヲ得サル非ス一定ノ制限無之事

一 中山道二十六驛 北國街道十二驛 同西街道九驛 甲州街道

自村継立免除高高クハ治下ノ

三驛 伊那街道十七驛 北國街道松代通五驛 北國服徃還二驛 合十四驛ノ外ハ自村継立免除高又ハ附属村アルモノト云凡其入費贖等ヲ全國ニ割賦スルニナク其村々ニテ割合可申又全國ノ割賦ヲモ受サル

### 第五條

各驛傳馬所ハ全國之カラ以テ新一局ヲ創置セサルヘカラスト虫一時ノ民情ニ取テ成シ難キモノアリ故ニ一個ノ假規則ヲ設ケ從前一高アルモノハ家賃一年ニ五圓ヲ与ヘ別ニ一局ヲ設ケス舊問屋等ノ居宅ニテ事ヲ辦スルモノハ一年ニ三圓ヲ与ヘテ一時ノ用ヲ辦シ漸ク以テ一局ヲ建置スヘキ事

但假局ト云凡修覆ノ費用ハ全國ニテ割賦スル

第六條

各驛之舊習高賈ノ荷物ニ口錢庭賃ナルモノアリ庭賃ハ之ヲ取扱フモノニ与ヘ口錢ハ根原正シカラスト云凡一時ノ假規則ヲ以テ之ヲ稱スルモノ如キ是也  
然レ凡亦一定ノ制限アリテ之ヲ傳馬所ニ揭示スモシ非常ノ事アル時ハ傳馬所ノ役負ヲ嚴遣シ或ハ擯斥スヘキ事  
但各月ニ納拂ヲ細記シ出驛ノ官吏ヘ差出シ檢澄ヲ乞フヘシ

第七條

各驛ニ多少傳馬屋敷除地ナレモアリ從前之ヲ以テ驛ノ立人馬ヲ請負ハシメタルモノトス自今ハ別ニ其稅ヲ假定シ全國割賦金中へ

差出サシムル事

萬世子多と出以患多き事如表ノ如シ

諸肯金傳馬所雜費等ハ各月ノ分ラ翌月ノ朔日調へ出シ三日ニ渡スヲ以テ定則トス右ノ金ハ今般ノ會議散歸後各藩縣治下ノ民人ニ改正發行ヲ以テ期トシ若干ノ金ヲ出シ置時ハ萬世子銀ヲ以テ憂ナキ旨ヲ懇諭シモ又差出シ難キモノハ一割五分ノ旨ヲ出シ肯人又ハ驛郷ノ富民等ヨリ借入ル旨ヲ懇諭置キ各月二日ニ借入サセ三日ニ相渡シ候事

但出驛ノ吏人子銀ノ多寡ヲ檢査シ二八月ニ會議所へ持出シ尚又他人ノ檢査ヲ乞フベシ

第六條

各驛之舊習高賈ノ荷物ニ口錢ニ庭賃ナルモノアリ庭賃ハ之ヲ取扱フモノニ与ヘ口錢ハ根原正シカラスト云凡一時ノ假規則ヲ以テ之ヲ稱スルモノノ如キ是也  
然レ凡亦一定ノ制限アリテ之ヲ傳馬所ニ揭示スモシ非當ノ事アル時ハ傳馬所ノ役負テ嚴謹ニ或ハ擯斥スヘキ事

第七條

各驛ニ多少傳馬屋敷除地ナレモアリ從前之ヲ以テ驛ノ立人馬ヲ請負ハシメタルモノトス自今ハ別ニ其稅ヲ假定シ全國割賦金中へ

差出サシムル事

但各驛金高之定負ハ別表ノ如シ

第八條

諸肯金傳馬所雜費等ハ各月ノ分ヲ翌月ノ朔日調へ出シ三日ニ渡スヲ以テ定則トス右ノ金ハ今般ノ會議散歸後各藩縣治下ノ民人ニ改正發行ヲ以テ期トシ若干ノ金ヲ出シ置時ハ萬世子銀ヲ以テノ憂ナキ旨ヲ懇諭シモシ又差出シ難キモノハ一割五分ノ旨ヲ出シ肯人又ハ驛郷ノ富民等ヨリ借入ル旨ヲ懇諭シ置キ各月二日ニ借入サセ三日ニ相渡シ候事

但出驛ノ吏人子銀ノ多寡ヲ檢查シ二八月ニ會議所へ持出シ尚又他人ノ檢查ヲ乞フベシ

第九條

諸引高ヲ除キ残高ヲ以テ各道ノ附属高規則ニ適當セシメ  
以テ附属村ヲ確定シ藩縣ノ役負東京ニ至リ議定ノ規則ヲ  
部省ニ達シ印章ヲ書改メ得ル後各驛ニ渡シ附属村ニ清印

第十條

新則發行ノ後ハ各藩縣ヨリ二三驛一人ノ割合ヲ以テ官負ヲ  
出張セシメ傳馬所役負ノ非義ヲ彈止シ果メ規則ニ合スルヤラ  
監察シ錢貨出納ヲ検査シ渾而驛ニ關係スル諸事件ヲ  
裁判スルノ全權ヲ委任シ置クヘキ事

但新則發行ハ諸附属村印章ニ清印ニ終リタルヲ以テ期限ト  
シ諸事件ヲ改正スルニ

第十一條

宛摩那或間トニ畢市會後所ヲ創建シ二八月ニ各藩縣  
ノ諸費ノ害賦ニ或ハ臨時  
ヲ改訂スルノ用ニ供スヘキ事  
縣ニテ割合ノ事

右十一條之趣自今誓テ確守スヘクモシ沮格行フ可ラサルモノ  
アラハ臨時ニ會議ヲ起シ更ニ衆議ヲ經ル後之ヲ改正スヘシ  
一藩一縣私ニ法ヲ建ルヲ禁ス是紛紜錯雜ノ弊ヲ防キ全国



第九條

諸引高ヲ除キ残高ヲ以テ各道ノ附屬高規  
以テ附屬村ヲ確定シ藩縣ノ役負東京ニ至  
部省ニ達シ印章ヲ書改メ得ル後各驛ニ  
セシムル事

第十條

新則發行ノ後ハ各藩縣ヨリ二三驛一人ノ割  
出張セシメ傳馬所役負ノ非義ヲ彈止シ果ノ  
監察シ錢貨出納ヲ検査シ渾而驛運ニ明  
裁判スルノ全權ヲ委任シ置クヘキ事

但新則發行ハ諸附屬村印章ニ請印シ終  
事諸事件ヲ改正スルニ

第十一條

筑摩郡淺間郡ニ驛遞會議所ヲ創建  
ヨリ驛遞全權ノ吏人ヲ差出シ驛遞ノ諸費  
會議ヲ起シ規則中ノ弊害アルモノヲ改訂スル  
但令該所創建ノ入費ハ各藩縣ニテ割入

右十一條之趣自今誓テ確守スヘクモシ沮格  
コラハ臨時ニ會議ヲ起シ更ニ衆議ヲ經ル後  
一藩一縣私ニ法ヲ建ルコトヲ禁ス是紛紜錯雜

全國割賦法ハ各藩國ノ  
上迄未だ然  
全國驛遞諸員人ト信不信  
スルコトハ如何

之民人之苦樂ヲ同フキムル所以ナリ

明治二年己巳秋八月

信州藩縣

役員一同

諸定負表

# 各道役負表

各道給分	各驛給分	小使		人馬差		書役		勘定役		元締役		取締役		總目
		給分	人負	給分	人負	給分	人負	給分	人負	給分	人負	給分	人負	
一万五千兩	四百二十五兩	五十兩	一人	五十五兩	二人	六十兩	一人	六十五兩	一人	七十兩	二人			中山道
三千七百十兩	三百十五兩	四十五兩	一人	四十五兩	一人	五十兩	一人	五十五兩	一人	六十兩	二人			北国街道
二千四百六十兩	二百五十兩	テ兼	人馬差ニ	四十五兩	一人	テ兼務ス	勘定役ニ	五十兩	一人	五十五兩	二人			北国西街道 甲及街道
二千二百九十五兩	百三十五兩	テ兼	人馬差ニ	四十兩	一人	テ兼務ス	勘定役ニ	四十五兩	一人	五十兩	一人			伊那街道
五百二十五兩	百〇五兩	テ兼	人馬差ニ	三十兩	一人	テ兼務ス	勘定役ニ	三十五兩	一人	四十兩	一人			北国街道 松尾
百八兩	五十四兩	テ兼	人馬差ニ	二十四兩	一人	テ兼務ス	元締役ニ	テ兼務ス	元締役ニ	三十兩	一人			浦野保福寺驛

右定負ノ外中山道追分沓掛輕井沢ノ三驛ハ勘定役一人書役一人ニ増シ  
妻籠驛ハ書役一人ヲ増シテ各定則ノ給分ヲ与ヘ伊那街道同旨



# 中山道定立人馬請負金表

人足數	馬數	人足請領金	馬請領金	人馬總請負金	驛名
二十五人	十三足	十六兩二分	三十三兩	八百四十一兩二分	馬籠
三十人	十三足	十七兩	三十四兩	九百五十二兩	妻籠
二十五人	十三足	十六兩二分	三十三兩	八百四十一兩二分	三留野
二十五人	十三足	十八兩	三十六兩	九百十八兩	野尻
二十五人	十三足	十八兩	三十六兩	九百十八兩	須原
二十五人	十三足	十七兩	三十四兩	八百六十七兩	上松
二十五人	十三足	十七兩	三十四兩	八百六十七兩	福嶋
二十五人	十三足	十七兩	三十四兩	八百六十七兩	宮城
二十五人	十三足	十七兩	三十四兩	八百六十七兩	藪原
二十五人	十三足	十七兩	三十四兩	八百六十七兩	奈良井
二十五人	十三足	十六兩二分	三十三兩	八百四十一兩二分	贊川
二十五人	十三足	十五兩二分	三十一兩	七百九十四兩二分	本山
二十八人	十三足	十五兩二分	三十一兩	八百三十七兩	洗馬
三十人	十三足	十七兩	三十四兩	九百五十二兩	塩尻
四十人	十五足	二十六兩	五十二兩	千八百三十一兩	下諏訪
三十八人	十四足	二十六兩	五十二兩	千七百十六兩	和田
二十四人	十二足	十五兩	二十八兩	六百九十六兩	長窪
二十人	十二足	十五兩	二十八兩	六百三十六兩	蘆田
二十人	十二足	十五兩	二十八兩	六百三十六兩	望月
二十人	十二足	十五兩	二十八兩	六百三十六兩	八幡
二十人	十二足	十五兩	二十八兩	六百三十六兩	塩名田
二十人	十二足	十五兩	二十八兩	六百三十六兩	岩村田
二十人	十二足	十五兩	二十八兩	六百三十六兩	小田井
四十人	三十足	十五兩	二十八兩	千三百五十兩	追分
三十五人	二十五足	十三兩	二十二兩	千五兩	沓掛
四十五人	三十足	十八兩	二十七兩	千六百二十兩	輕井沢
七百五人	三百八十足			三万四千五百五十五兩二分	二十六驛總括

故有テ日歸リニスル一能ワス泊スルハ一泊一人永十五文ヲ与フヘシ  
 但前日セツ時已前ニ呼出シタルモノモ亦泊料同文ヲ与フヘシ  
 馬ハ人足二人ノ贖錢ヲ与フ  
 里程ハ其村ノ高札場ヨリ寄宿ノ傳馬所ヲ經テ継宿ノ傳馬所マテノ里程ヲ總括シテ算スヘシ  
 但格外近村ニテ持丁場トモ括シテ往返里程四里未滿ノ分ハ四リノ積リヲ以テ永百文ヲ与フヘシ  
 高札ナキ村ハ御藏御藏ナキハ名主ノ宅ヨリ里程ヲ算ス  
 宿人馬ヲ二等ニ用ユルハ継丁場贖錢ハ外半里返贖錢永二十五文ヲ与フヘシ  
 附屬宿ニ拘ラス成丈近キ村々ハ能當ヘシ

伊那街道定立人馬請負金表

人足數	馬數	人足請負金	馬請負金	人馬總括請負金	驛名
八人	一	十五兩	三十兩	百五十兩	岡谷
八人	一	十五兩	三十兩	百五十兩	平出
八人	一	十五兩	三十兩	百五十兩	埔小野
八人	一	十五兩	三十兩	百五十兩	宮木
十五人	二	十五兩	三十兩	二百八十五兩	松嶋
十五人	二	十四兩二分	二十九兩	二百七十五兩	北殿
十六人	二	十五兩	三十兩	三百兩	伊那部
十六人	二	十五兩	三十兩	三百兩	宮田
十六人	二	十五兩	三十兩	三百兩	上穗
十六人	二	十五兩	三十兩	三百兩	飯嶋
十二人	二	十五兩	三十兩	二百四十兩	斤桐
十二人	二	十四兩	二十八兩	二百二十四兩	市田
十二人	二	十五兩	三十兩	二百四十兩	飯田
十二人	二	十五兩	三十兩	二百四十兩	山本
十二人	二	十六兩	三十二兩	二百五十六兩	下清内路
十二人	二	十七兩	三十四兩	二百七十二兩	上清内路
二百十人	三十	十七兩	三十四兩	四千百四兩二分	蘭
					十七驛總括

伊那街道定立人馬請負金表

八人	一	十五兩	三十兩	百五十兩	岡谷
八人	一	十五兩	三十兩	百五十兩	平出
八人	一	十五兩	三十兩	百五十兩	埔小野
八人	一	十五兩	三十兩	百五十兩	宮木
十五人	二	十五兩	三十兩	二百八十五兩	松嶋
十五人	二	十四兩二分	二十九兩	二百七十五兩	北殿
十六人	二	十五兩	三十兩	三百兩	伊那部
十六人	二	十五兩	三十兩	三百兩	宮田
十六人	二	十五兩	三十兩	三百兩	上穗
十六人	二	十五兩	三十兩	三百兩	飯嶋
十二人	二	十五兩	三十兩	二百四十兩	斤桐
十二人	二	十四兩	二十八兩	二百二十四兩	市田
十二人	二	十五兩	三十兩	二百四十兩	飯田
十二人	二	十五兩	三十兩	二百四十兩	山本
十二人	二	十六兩	三十二兩	二百五十六兩	下清内路
十二人	二	十七兩	三十四兩	二百七十二兩	上清内路
二百十人	三十	十七兩	三十四兩	四千百四兩二分	蘭
					十七驛總括

北國往還定立人馬請員金表

三百人	二十五人	二十五人	二十五人	二十五人	二十五人	二十五人	二十五人	二十五人	二十五人	二十五人	二十五人	二十五人	二十五人	人足數
百八十足	十五足	十五足	十五足	十五足	十五足	十五足	十五足	十五足	十五足	十五足	十五足	十五足	十五足	馬數
	十三兩	十四兩	十六兩	十五兩	十三兩	十五兩	十四兩	十五兩	十六兩	十五兩	十七兩	十五兩	十七兩	人足請員金
	二十六兩	二十八兩	三十二兩	三十兩	二十六兩	三十兩	二十八兩	三十兩	三十二兩	三十兩	三十四兩	三十兩	三十四兩	馬請員金
九百九十兩	七百十五兩	七百七十兩	八百八十兩	八百二十五兩	七百十五兩	八百二十五兩	七百七十兩	八百二十五兩	八百八十兩	八百二十五兩	九百三十五兩	八百二十五兩	九百三十五兩	人馬總括請員金
十二驛總括	野尻	大古	牟禮	新町	善光寺	丹波嶋	矢代	土戶倉	坂木	上田	海野	小諸	驛名	

表員金請員金入立並請員金

八	八	八	八	八	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	人足數
八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	馬數
一	一	一	一	一	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	人足請員金
五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	馬請員金
十	十	十	十	十	十四	十五	十五	十五	十五	十五	十四	十五	十六	十五	人馬總括請員金
三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	人馬總括請員金
百	百	百	百	百	二百	二百	二百	二百	二百	二百	二百	二百	二百	二百	人馬總括請員金
觀	岡	平	小	宮	北	北	宮	土	土	土	市	山	山	山	驛名

北國脇三還驛同表

十二人	六人	六人	人足數
四	二	二	馬
足	足	足	數
	十五兩	十五兩	人足請員金
	三十兩	三十兩	馬請員金
三百兩	百五十兩	百五十兩	人馬總括請員金
二驛總括	浦野	保福寺	驛名

北國街道松代通同表

四十九人	十三人	七人	八人	八人	十三人	人足數
七	二	一	一	一	二	馬
足	足	足	足	足	足	數
	十五兩二分	十四兩	十四兩	十四兩	十五兩	人足請員金
	三十一兩	二十八兩	二十八兩	二十八兩	三十兩	馬請員金
九百二十四兩二分	二百六十三兩二分	百二十六兩	百四十兩	百四十兩	二百五十五兩	人馬總括請員金
五驛總括	神代	長沼	福島	川田	松代	驛名

北國西往還同表

百二十八人	十六人	十三人	十三人	十三人	十三人	十六人	十五人	十六人	十三人	人足數
四十八	六	五	五	五	五	六	五	六	五	馬
足	足	足	足	足	足	足	足	足	足	數
	十七兩	十七兩	十七兩	十五兩	十五兩	十四兩二分	十四兩二分	十四兩二分	十四兩二分	人足請員金
	三十四兩	三十四兩	三十四兩	三十兩	三十兩	二十九兩	二十九兩	二十九兩	二十九兩	馬請員金
三千五百十六兩	四百七十六兩	三百九十一兩	三百九十一兩	三百四十五兩	三百四十五兩	四百二十兩	三百六十二兩二分	四百六兩	三百三十三兩二分	人馬總括請員金
九驛總括	稻荷山	麻績	青柳	會田	刈谷原	岡田	松本	村井	鄉原	驛名

甲段街道同表

四十三人	十五人	十五人	十三人	人足數
十七	六	六	五	馬
足	足	足	足	數
	十六兩	十七兩	十五兩	人足請員金
	三十二兩	三十四兩	三十兩	馬請員金
千二百三十六兩	四百三十二兩	四百五十九兩	三百四十五兩	人馬總括請員金
三驛總括	葛木	金澤	上諏訪	驛名



